



那覇市民の友

第704号 毎月1回発行
2009年(平成21年)
9月

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2009(平成21)年7月末現在	
総人口	316,932 (2,154)
男女	152,852 (1,107) 164,080 (1,047)
世帯数	133,924 (1,315)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本庁	94,825
真和志	104,396
首里	58,072
小禄	57,485

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 (株)近代美術



勇壮なエイサー演舞 那覇に集う!

1万人のエイサー踊り隊

沖縄の伝統芸能であるエイサーを披露することで、入域観光客数の拡大や、沖縄経済の発展に寄与することを目的に7月31日(金)から8月2日(日)までの3日間、夏祭りin那覇2009「1万人のエイサー踊り隊」が国際通りを舞台に開催されました。

15回目となった今年も、30度を超える猛暑の中、どの演舞場も観光客や地元の人で埋めつくされ、太鼓の音や、指笛が鳴り響き、にぎやかに行われました。

最終日に行われた「1万人のエイサー踊り隊 エイサーパレード」には、県内各地で独自のリズムと振り付けを継承している青年会の伝統エイサー団体や、時流に合わせた振り付けやサウンドを取り入れた創作エイサー団体、一般公募のメンバーによるエイサーページェント隊など約90団体総勢4800人が参加。観客と演舞者の距離が近い国際通りの特設ステージで迫力ある勇壮な演舞を披露し、観客を魅了していました。また、このエイサーパレードには当日エイサーを2時間練習し、演舞を披露する「にわかエイサー踊り隊」も参加し、会場を盛り上げていました。「にわかエイサー踊り隊」に参加した檜野みのりさん(山形県・9歳)は、「難しかったけど、パーラソクを使って楽しかったです。今回の演舞は80点の出来。ギリギリ合格点かな」と笑顔で話していました。

主な紙面

- 2 那覇市の地球温暖化防止対策
- 3 那覇市の財政(平成20年度)
- 4 那覇市役所本庁舎は建て替えのため一時移転します
- 5 情報PACK
- 6
- 7

協働のまちづくり 那覇を紡ぐ



「協働」とは、まちづくりのために、市民・事業者・市民団体・行政などが、それぞれの特性を発揮しながら協力しあうことです。

市と道路ボランティア協定を結ぶ団体のみなさんが、意見交換や日頃の活動状況の報告を通し、互いの交流を深める道路ボランティア懇談会が7月17日(金)、市緑化センターで行われました。

道路ボランティアとは、「那覇市協働のまちづくり事業」の一環で、市道の管理者である那覇市と市民のみなさん、地域団体、企業の方々が協働により役割分担を決め市道の美化・清掃を行うことから、地域の活性化及び協働型まちづくりを促進していくことを目的に行われています。

現在、市と道路ボランティア協定を結んでいるのは、自治会や通りをはじめ、企業や高校など43団体で、懇談会には、各団体の代表者や市の関係者が出席しました。

この日は、はじめに翁長市長が市長講話「Do協働!それいけ営業部長」を行い、参加者に協働大使への就任を依頼したほか、地域防犯と子どもたちの安全確保を目的とした小学校区単位のコミュニティづくりと地球温暖化防止や環境の保全のために屋上・壁面緑化を利用した「緑のそよ風大作戦」事業への協力を呼びかけました。その後行われた活動報告では、市と道路ボランティア協定を最初

ボランティア懇談会で意見交換

に締結した天久クレッセント会と自治会や那覇市シルバー人材センターと協力し、道路の清掃を行っている興南高校JRCインターアクトクラブのみなさんがスライドなどを使って、ボランティア活動や日頃の清掃活動について報告しました。

また、意見交換会では、普段活動している中で、苦労していることや感じたこと、活動拡大に向けての取り組みなどについて活発な意見交換が交わられました。参加した男性は、「自分たちの住む地域を、自分たちの力できれいにすることは当然のことだと考えています。こういった活動が市

だけでなく、沖縄全体に広がれば素晴らしいことだと思います。私たちの活動は、子や孫のためにもとても意義深いものだと思います」と、笑顔で話していました。



道路ボランティアの活動報告の様子。道路ボランティア協定を結ぶ企業や自治会のみなさんが参加しました。